

2017年度事業報告について

<概況報告>

2017年度 法人目標

1. 事業推進
 - ・予実管理及び新規利用者の確保
 - ・人材確保
2. サービスの質の向上
 - ・こやまケアの推進
 - ・新品質マニュアルの運用
3. 自律型職員の育成
 - ・課題を分析し改善提案のできる職員の育成

1. 事業推進

- ・予実管理の徹底

福祉事業売上	953,912千円計画	976,152千円	計画比 102.3%
公益事業売上	51,088千円計画	63,905千円	計画比 125.1%

- ・新規利用者の確保 (4月～3月)

	本年	前年	
入居申込者数 (GH含む)	100名	143名	(3月末)
短期事業新規利用者数	44名	61名	(2017年度)
通所事業新規利用者数	32名	59名	(2017年度)
小規模事業新規利用者数	28名	14名	(2017年度)
居宅事業新規利用者数	58名	82名	(2017年度)
福祉用具新規利用者数	45名	94名	(2017年度)
自立支援新規利用者数	0名	6名	(2017年度)

社会福祉法人	前年度実績	構成比	当年度予算	構成比	当年度実績	構成比	予算比	前年比
売上高	1,031,689		1,005,000		1,040,057		103.5%	100.8%
費用	980,016	95.0%	965,852	96.1%	1,003,227	96.5%	103.9%	102.4%
人件費	640,963	62.1%	641,716	63.9%	663,340	63.8%	103.4%	103.5%
材料費	82,261	8.0%	81,048	8.1%	84,551	8.1%	104.3%	102.8%
給食	57,825	5.6%	53,815	5.4%	56,728	5.5%	105.4%	98.1%
その他	24,436	2.4%	27,233	2.7%	27,823	2.7%	102.2%	113.9%
水道光熱費	45,214	4.4%	41,271	4.1%	51,008	4.9%	123.6%	112.8%
減価償却費	66,979	6.5%	65,779	6.5%	66,859	6.4%	101.6%	99.8%
その他経費	144,599	14.0%	136,038	13.5%	137,469	13.2%	101.1%	95.1%
営業利益	51,673	5.0%	39,148	3.9%	36,830	3.5%	94.1%	71.3%
営業外収益	19,993	1.9%	17,103	1.7%	13,933	1.3%	81.5%	69.7%
営業外費用	27,933	2.7%	26,277	2.6%	25,371	2.4%	96.6%	90.8%
支払利息	19,261	1.9%	19,005	1.9%	18,724	1.8%	98.5%	97.2%
その他	8,672	0.8%	7,272	0.7%	6,601	0.6%	90.8%	76.1%
経常利益	43,733	4.2%	29,974	3.0%	25,392	2.4%	84.7%	58.1%

社会福祉法人(福祉事業)	前年度実績	構成比	当年度予算	構成比	当年度実績	構成比	予算比	前年比
売上高	949,802		953,992		976,152		102.3%	100.4%
費用	895,981	94.3%	911,444	95.5%	942,076	96.5%	103.4%	101.7%
人件	605,937	63.8%	633,916	66.4%	654,843	67.1%	103.3%	104.6%
材料	81,949	8.6%	81,036	8.5%	84,383	8.6%	104.1%	98.9%
給食	59,138	6.2%	53,815	5.6%	56,728	5.8%	105.4%	91.0%
その他	22,811	2.4%	27,221	2.9%	27,655	2.8%	101.6%	119.3%
水道光熱費	44,396	4.7%	41,181	4.3%	50,905	5.2%	123.6%	92.8%
減価償却費	67,486	7.1%	65,690	6.9%	66,770	6.8%	101.6%	97.3%
その他経費	96,213	10.1%	89,621	9.4%	85,174	8.7%	95.0%	93.1%
営業利益	53,821	5.7%	42,548	4.5%	34,076	3.5%	80.1%	79.1%
営業外収益	20,103	2.1%	17,102	1.8%	13,909	1.4%	81.3%	85.1%
営業外費用	27,590	2.9%	26,277	2.8%	25,371	2.6%	96.6%	95.2%
支払利息	20,012	2.1%	19,005	2.0%	18,724	1.9%	98.5%	95.0%
その他	7,578	0.8%	7,272	0.8%	6,647	0.7%	91.4%	96.0%
経常利益	46,334	4.9%	33,373	3.5%	22,614	2.3%	67.8%	72.0%

入所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
あいじ	申込者数	40	42	38	37	34	37	38	37	38	33	34	34
	入居可能者数	3	3	3	2	2	2	2	2	2	3	2	2
ゆずり葉	申込者数	121	91	98	105	108	112	114	109	116	120	115	61
	入居可能者数	4	5	5	5	8	7	7	6	5	4	4	4
GHさくらの丘	申込者数	2	3	4	3	4	5	3	4	5	5	5	5
	入居可能者数	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1

在宅		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
あいじ短期入所	予防	新規	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
		登録	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	6	
		請求	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	介護	新規	1	0	4	2	4	2	5	1	1	2	1	4	27
		登録	27	19	24	23	28	26	31	23	21	22	22	22	288
		請求	8	8	13	12	14	16	19	19	10	12	14	14	159
ゆずり葉短期	予防	新規	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
		登録	5	6	6	6	6	6	7	7	6	6	6	8	75
		請求	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	介護	新規	5	4	3	4	3	2	5	3	4	3	5	3	44
		登録	78	81	82	84	86	86	86	89	89	88	90	90	1029
		請求	39	40	34	42	43	40	43	37	38	39	36	37	468
かじか荘	予防	新規	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
		登録	7	7	6	7	9	9	4	2	1	0	0	0	52
		請求	7	7	6	6	5	5	3	2	1	0	0	0	42
	総合事業	新規	1	0	1	0	0	1	2	1	1	3	2	1	13
		登録	1	1	2	2	2	4	6	6	7	10	12	13	66
		請求	1	1	2	2	2	4	6	6	7	9	11	12	63
介護	新規	1	1	2	3	0	3	2	1	1	5	0	2	21	
	登録	43	42	43	47	45	49	49	47	47	48	45	47	552	
	請求	41	42	42	44	44	46	46	44	42	46	43	44	524	
アルクゆずり葉	予防	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		登録	31	30	29	23	20	17	16	13	11	9	4	0	203
		請求	29	28	26	20	17	14	15	13	10	8	4	0	184
	総合事業	新規	1	0	1	6	0	2	0	0	1	0	0	0	11
		登録	2	2	3	9	11	15	16	19	21	23	27	30	178
		請求	2	2	3	9	11	15	16	18	18	23	26	30	173
介護	新規	0	3	1	2	3	2	3	1	1	2	1	2	21	
	登録	41	43	44	43	46	45	46	45	45	46	48	45	537	
	請求	38	41	41	38	39	40	41	44	39	39	39	41	480	
ケアプランセンター日翔会	予防 総合事業	新規	3	4	2	2	3	1	2	3	1	3	2	1	27
		登録	64	66	66	65	67	67	67	71	71	73	74	73	824
		請求	58	59	58	58	60	62	63	66	65	63	67	66	745
	介護	新規	3	5	2	5	1	3	3	1	0	2	3	3	31
		登録	135	131	129	130	130	132	132	126	124	123	119	117	1528
		請求	121	122	123	123	125	118	121	120	113	109	106	107	1408
小規模さくらの丘	予防	新規	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3	
		登録	3	4	3	3	3	3	4	4	4	5	4	4	44
		請求	3	4	3	3	3	3	4	4	4	5	4	4	44
	介護	新規	0	3	0	0	2	0	0	3	2	1	3	1	15
		登録	21	23	22	20	22	22	19	22	20	20	20	21	252
		請求	21	23	22	20	20	22	21	22	20	20	20	21	252
小規模葉の花	予防	新規	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	
		登録	1	1	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	23
		請求	1	1	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	23
	介護	新規	1	3	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	8
		登録	24	26	25	25	25	24	24	24	25	25	25	25	297
		請求	24	26	25	25	25	24	24	24	25	25	25	25	297
福祉用具あいじ	予防	新規	2	0	1	1	2	0	2	0	2	1	0	1	12
		登録	29	28	29	30	30	29	31	30	31	30	27	27	351
		請求	29	28	29	30	30	29	31	30	31	30	27	27	351
	介護	新規	7	1	1	6	7	0	2	1	2	1	0	5	33
		登録	115	103	95	93	95	90	89	86	82	79	78	82	1087
		請求	113	103	96	93	96	90	89	86	83	78	78	82	1087
ゆうゆう倶楽部	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	登録	25	23	23	23	23	23	22	21	21	21	21	21	267	

2. サービスの質の向上

・こやまケア推進

活動として、リスク管理が出来る職員を育成し重大事故を予防するを重点としました。
事故報告書を変更し、検証、改善をわかりやすくし事故件数の減少となりました。
また、感染予防を徹底した結果インフルエンザの蔓延を抑えることが出来ました。

・新品質マニュアルの運用

内部監査員数 30名

研修	5月12日	内部監査員研修(上級)	1名
	5月13日、31日	内部監査員研修(初級)	5名
	8月6日	内部監査員OJT研修	3名

3. 人材育成

・職員の定着率の向上

職員数	206名 (2018年3月31日)
入職者数	49名
退職者数	40名

・資格取得と研修参加の充実

介護支援専門員	受験者数	19名	合格者	3名
介護福祉士	受験者数	13名	合格者	5名

2017年度法人内研修・事業所内研修実績

法人

実施月	研修内容
4月	新人職員研修
7月	日翔会新人フォローアップ研修
7月	管理者研修
9月	こやまケア介護技術コンテスト
8月、2月	一般採用者研修
10月	スキルアップ研修

特別養護老人ホームあいご

月	研修内容	月	研修内容
4月	法令遵守・接遇、記録	10月	感染症予防(想定訓練)
5月	食事について リスクマネジメント(想定訓練)	11月	身体拘束・虐待について 認知症について
6月	食中毒について、緊急時想定訓練	12月	防災訓練
7月	防災訓練、ISOについての勉強会	1月	リスクマネジメント
8月	移乗介助について	2月	苦情について(想定訓練)
9月	排泄介助について	3月	離荘について(想定訓練)

デイサービスかじか荘

月	研修内容	月	研修内容
4月	介護保険制度について	10月	感染予防
5月	リスクマネジメントについて	11月	交通安全について
6月	食中毒について・消防訓練	12月	苦情について・消防訓練
7月	非常災害時の対応(離荘・災害)	1月	法令遵守、個人情報保護法
8月	救急救命講習	2月	身体拘束・虐待防止
9月	認知症について	3月	介護技術

グループホームにいざとさくらの丘・小規模多機能ホームにいざとさくらの丘

月	研修内容	月	研修内容
4月	救命救急救急法	10月	リスクマネジメント
5月	接遇・不審者対策について	11月	感染症及び蔓延防止
6月	法令遵守	12月	身体拘束・虐待防止
7月	離設時の対応	1月	介護技術
8月	認知症について	2月	個人情報保護
9月	苦情対応について	3月	緊急時の対応について

小規模多機能ホーム菜の花

月	研修内容	月	研修内容
4月	こやまケアについて	10月	感染症予防(感染想定訓練)
5月	リスクマネジメント	11月	身体拘束・虐待防止について 交通安全講習
6月	食中毒・熱中症対策 避難想定訓練	12月	離設対応(事故想定訓練) 避難想定訓練
7月	認知症について 非常災害想定訓練(水害)	1月	苦情対応(接遇・電話対応) (苦情想定訓練)
8月	法令遵守・個人情報・介護保険 救命救急講習	2月	介護技術研修
9月	緊急時の対応(事故想定訓練)	3月	介護技術研修(口腔ケア)

特別養護老人ホームゆずり葉・アルクゆずり葉

月	研修内容	月	研修内容
4月	レクリエーション・カルチャー勉強会 こやまケアについて	10月	感染症について(インフルエンザ・ノロウイルス・吐物処理の手順)
5月	苦情対応、リスクマネジメント	11月	法令遵守・個人情報保護法・プライバシー

	不審者対策		保護・秘密保持について
6月	感染症及び食中毒及びまん延防止について	12月	身体拘束廃止・高齢者の人権擁護・虐待防止について 交通安全講習
7月	防災対策（水害等）について	1月	記録について
8月	緊急時対応について	2月	心と体の健康・メンタルヘルス こやまケア（接遇・マナー）
9月	食事介助、口腔ケアについて	3月	離設対応について

福祉用具貸与販売事業所あいご

月	研修内容	月	研修内容
4月	法令遵守・コンプライアンス	10月	感染予防-1-
5月	リスクマネジメント	11月	感染予防-2-製品知識
6月	個人情報取り扱い	12月	褥瘡勉強会-1-
7月	おむつ勉強会	1月	褥瘡勉強会-1-実技
8月	身体拘束	2月	シーティング勉強会
9月	新製品説明勉強会	3月	ポジショニング勉強会

2017年度こやまケア運営委員会活動報告

基本方針

I、ケアの質向上とリスク管理の徹底 II、社会化の推進 III、次世代の育成

活動内容

I、ケアの質向上とリスク管理の徹底

1. リスク管理が出来る職員を育成し、重大事故を予防する。

感染症予防、誤嚥、誤飲予防を行う。

インシデント、アクシデントの書式が変更になり、10月から検証、改善の部分はシェル

モデルを用いて検証を行った。分析項目をわかりやすく提示した事により、記入も容易となっている。

感染症予防に関しても、看護委員会を中心に吐物処理手順等の見直しなどを行った。

今年度は、各事業所感染予防を徹底した結果、感染が蔓延する事はなかった。

2. お客様には安全でおいしい食事を提供する

口腔ケアのDVD作成をしたが、すぐに配布が出来なかった。内容の修正に時間を要する為、年度内に配布して各事業所で活用してもらう。

食事での事業所も、誤嚥などの大きな事故に繋がる事例はなく、安全に食事を提供することが出来た。

3. こやまケア月間活動の取り組み

毎月各事業所で月間の活動の取り組みを行った。昨年に比べて、各事業所で実施した内容をブログにあげてもらい、毎月の月間活動が浸透してきていると感じた。

4. 施設間評価

ISO 内部監査と施設間評価の融合として、一緒に行った。

マニュアルが改訂に伴い、開始が遅くなったが、計画通りの進捗となった。来年度は評価表など新たなものになる為、運営委員が中心となり勉強会を行い評価していく。

5. お客様アンケート

平成29年度はアンケート回収率70%を目標とした。結果は医療法人はアンケート配布数：625枚、回収数：454枚、回収率73%

社会福祉法人は配布数：460枚、回収数：362枚、回収率79%で目標は達成した。

アンケートの内容については、接遇面で評価は高く、95%～98%方が好印象を持って下さっており、昨年度より10～30%評価が上がっている。

ご本人・ご家族にとって、話を良く聞いてくれ要望に対応してくれる、体調の説明を細かくしてくれるという回答が10～20%増えており、「柔軟に対応してくれる」という項目では、「悪い・わからない」が5%以下に減っていることは、ご家族の面会時等に話しをしていこうという昨年度の反省が活かされ、成果が出たと考えられる。

今年度、課題になる設問として、「苦情の受付窓口、ケアプランの説明について」「分からない」「説明されていない」と回答された方が昨年度と比べ5～10%増えている。

昨年度対策を検討したにも関わらず増えており、説明の仕方について検討が必要。同様に「施設は訪ねて行きやすいか」「サービスに満足しているか」についても、「わからない・不満」と回答された方が3~6%増えており、一部の方にとって、訪ねる機会がないのでわからないと感じておられるのではないかと。行事へのお誘いや、お手紙での働きかけで来て頂く機会を設けるなどの工夫が今後、必要である。平成29年度お客様アンケートの改善策の進捗については、各事業所にて会議等での確認を行っていく。

6. スマイルレポート

今年度初めての試みで、スマイルレポートを12月1~12月31日の1ヵ月間実施しました。目的として、お客様の情報共有をおこなう。良いケアに繋げていく。定義は、お客様が喜んで笑顔になってくれた事。お客様に言われて嬉しかった事。実施後の意見として、お客様の情報共有ができてよかった。モチベーションが上がった。こんな褒められるレポートがあっても良いと思う。お客様からの感謝の言葉を紙に書いて見える形で表示することで、「改めて嬉しく思った」などの意見があった。改善が必要な点は、最初何を書いているかわからなかった。継続して記入できるかが課題。誰かが貼りだしをしないと書かない現状があり、呼びかけも不足していた等の課題もあげられた。次年度、スマイルレポートは活動に入れて行っていく。改善等が必要な点に関しては、こやまケア運営委員会の中で話し合い検討し、お客様のたくさんの笑顔を引き出せるようにしていきたい。

II、社会化の推進

7. チームケア学会

作成委員会を立ち上げ、スケジュールを立て、事例選出から発表・修正確認が行えた。全国研究発表会に向かうことが出来た。

10月12日西エリア事例研究発表会、11月17日日翔会事例研究発表練習

11月23、24 全国事例研究発表会に4事例の発表を行った。

8. 法人環境整備 2回/年 6月14日、11月8日実施した。

9. こやまケア介護技術コンテストは9月10日に開催した。

今年度は、事例を「食事介助」に設定し、エリアごとに介護福祉士の参加があった。

チェック表を用いて、審査員が採点し、優秀者を決めています。

介護技術コンテストに向かう姿勢も、年々各事業所で参加者に対して練習を重ねているのがよく分かる内容であった。

川柳・俳句コンテストは11月18、19日いきいき日野ふれあい祭りに出展を行った。

2日間で地域の方に投票をしてもらい、地域の方々も「毎年楽しみにしているんですよ」「なかなか考えて書いてあってよくわかる」など賞賛の声を頂いた。地域にも浸透しているので、次年度も色々な工夫をして出展していきます。

III、次世代の育成

10. 研修

新人研修 4月3日~6日 新人フォローアップ研修 7月

採用者研修 8月23日、2月21日 吐物処理方法の勉強会（看護委員会主催）6月5日

とろみ剤勉強会（栄養員会）6月20日（株）フードケアの外部講師を招いて開催。介護技術研修 10月29日 「移乗・移動について」16名参加。

2017年度採用活動報告

1. 事業推進

・人材確保

新規卒者14名の確保（大卒4名 短大卒4名 高卒6名）

○福祉系学部、学科の学生の獲得

・3年目、5年目とキャリアアップした先輩の様子を広報として学校訪問の資料とした。学校からの問い合わせがあり応募につながった。

○インターンシップの実施

・31名受け入れ（大学8名 短大3名 専門6名 高校13名）

・アルクつつじ、小規模多機能ホーム華つばき、おしどり荘、ゆずり葉で実施しマンツーマンで指導者を付ける。指導者向けのマニュアル作成をした。好評で応募につながった。

○会社説明会の実施

・日本海新聞社主催のマイナビでの説明会（3月2回、4月1回、5月1回 4回実施）

・企業説明会（就職フェア30回出展 抽選漏れ4回

学内説明会14校へ参加 単独説明会14回実施）

○就職サイト、採用ホームページの頻繁な更新（お知らせとブログ）

○学校訪問 49校訪問（先輩インタビューをもって訪問）

○リクルーター育成 小鳥貴裕

○見学、インターンシップ、行事参加を必須とし選考試験を行いミスマッチを軽減する方法を行った

・選考試験は、作文と面接。面接はエリア長が実施。高卒選考は上野次長が面接実施。

○内定者フォロー

・広報誌、季節の挨拶状、・内定式(11/3)・入職説明会(2/12)保護者が多かった卒業式の祝電等の送付

○新見短大学生交流会の実施

・2月に1回実施。施設見学し介護ロボットについて説明、先輩の話を聴く時間を持った

1年生3名、2年生3名、教諭2名参加

新卒は、前年に比べて学校訪問の件数を減らし就職サイトの活用と、インターンシップに繋げて応募ができる仕組みを作ったことが14名の獲得になった。

一般学生の流れは、各企業がすでにインターンシップに参加した学生を囲い込み、3月のサイトオープンと同時に選考を行っている。管理栄養士と社会福祉士の多くの学生は3月から活動し夏までには選考を終わらせていた。介護福祉科の学生は実習施設での就労を考える人が多い。リハビリ系は、3月国家試験受験後、自己採点后就職活動をしている。

説明会でのブースでは、若手職員が説明し若い学生とで活気あふれる企業が多い中、学生によっては、若者と年配担当がいる方が安心するとの学生の声もあった。

一般職員については、説明会実施記事をチラシにして、ハローワークへ持参し求職者に渡してもらった。また転職体験談というチラシを作成しハローワークへ持参した。転職体験談はハローワーク担当者から、仕事の紹介がしやすいと評価がもらえたが、実際につながっていない。

理事会開催

2017年5月24日

2017年6月16日

2018年3月12日

評議員会開催

2017年6月16日

2018年3月22日

事業所事業報告

1. 特別養護老人ホーム あいご

1. 事業推進

人材確保について「働きやすい職場を作ることによって離職率を下げる」を目標とし、職員が有給取得できるよう調整を行った。上半期は計画的に有給の取得を行えたが、下半期では職員の体調不良等により計画的に取得することができなかった。結果として、昨年度は入職者5名に対し退職者7名だったが、今年度は入職者8名に対し退職者6名だった。

備品の見直しをし、排泄物品等を改善し、経費削減を行った。

前期は入院者数が多かったが、後期には少しずつ減らすことができた。

昨年度多かった尿路感染症に関しては排泄介助・陰部洗浄の手順を見直し、使用物品の変更を行い取り組んだ結果、尿路感染症の発生件数はゼロだった。

昨年度の反省を活かし、インフルエンザの予防対策を職員一丸となり実施した結果インフルエンザ発生もお客様、職員共にゼロであった。

定期の営業に加え、空き情報を提供することで年間20名の新規ショート利用者が28名の確保となった。

2. サービスの質の向上

できる限り最期まで施設で生活をしたいというご家族の願いが以前から出ていた。その為、施設で何ができるのか、どのように取り組んだらよいかと今年度の看介護ケアの目標を最期までお客様のケアを行える体制作りをすると掲げた。

看護師は医師へお客様の情報を適切に伝えご家族の意向を尊重し病院との連携を図った。介護士はお客様の日常生活の援助・支援を行い個別に寄り添うケアに努めた。ご家族の面会時にはお客様の体調面や精神面等を細かく伝え、ご家族の不安感等を取り除くことが少しずつできるようになった。

今後の課題として死ということ、尊厳についての勉強会を実施し、全職員が最期の時までケアを実施するという覚悟が持てるようにしていきたい。

リスク管理については昨年度の課題にあった、誤嚥・窒息を予防していくために食事に関するリククマネジメントの勉強会を実施し、職員全員で予防に努めた結果、今年度は誤嚥・窒息に関する事故の発生はなかった。

3. 自律型職員の育成

今年度の目標として職員が主となり行事を企画し実施した。また、会議での発言が増えるよう主任・リーダーで声掛けを行い取り組んだ。今年度は新たに2名リーダーに昇格した。しかし、リーダーに昇格した後の育成が不十分だったため、今後はリーダーになった後も育成をしていきたい。

事業所名	定員	2017年度お客様延べ人数													
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
あいご入所	47	前年	1,325	1,389	1,347	1,429	1,433	1,331	1,420	1,373	1,454	1,414	1,193	1,362	16,470
		目標	1,410	1,457	1,410	1,457	1,457	1,410	1,457	1,410	1,457	1,457	1,316	1,457	17,155
		本年	1,394	1,453	1,403	1,450	1,442	1,410	1,446	1,394	1,438	1,442	1,316	1,457	17,045
		(入院)	34	121	103	114	92	100	94	76	60	30	23	31	878
あいご短期	3	前年	113	139	116	106	95	108	93	103	78	87	130	113	1,281
		目標	90	93	90	93	93	90	93	90	93	93	84	93	1,095
		本年	61	62	76	61	104	119	145	127	102	111	97	89	1,154
あいご	50	前年	1,438	1,528	1,463	1,535	1,528	1,439	1,513	1,476	1,532	1,501	1,323	1,475	17,751
		目標	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,400	1,550	18,250
		本年	1,421	1,394	1,376	1,397	1,454	1,429	1,497	1,445	1,480	1,523	1,390	1,515	17,321

2. ケアプランセンター日翔会

1. 事業推進

・人材確保

【目標】5人体制の維持

人材の確保までは至らなかったが、困った時は、ミーティング等を通して、対応方法を職員全員で検討していき、職員の精神的な負担を軽減することが出来た。

また、業務改善案についても、相談しながら、事務所内の物品の配置や環境を見直し、「ケアマネジャースケジュール管理表」の作成により、各職員の動きを把握するなど、随時、業務改善を実施した。

職員の担当件数も増え、仕事量、負担は増えてはいたが、職員同士で助け合いながら、離職者を出すことなく、5人体制を維持することが出来た。

平成30年度は人事異動もあり、4人体制からのスタートとなる。職員の仕事量も更に増えていくことが予想されるが、スケジュールの管理と、業務改善を行いながら、より一層、効率よく働きやすい職場づくりが求められる。

・予実管理及び新規利用者の確保

【目標】新規利用者を確保し、予算目標を達成する。

地域ケア会議、見える事例検討会等、積極的に包括や病院、事業所が集まる場に参加したり、普段の業務においても、随時、報告、連絡、相談をしながら、居宅介護支援事業所としての、信頼関係は維持することが出来た。新規利用者も随時、相談があり、受け入れを実施したことで、予算目標を達成することが出来た。

2. サービスの質の向上

- ・こやまケア推進

【目標】専門職としてのスキルアップ

平成 29 年度は主任介護支援専門員を 1 名取得し、主任介護支援専門員が 2 名となった。職員のスキルアップとして、困った時は事例検討を行い、対応方法等を主任ケアマネ中心に助言を行い、介護支援専門員の育成に繋げた。

介護保険制度やその他の社会資源等、新たな、情報が入った時はスキルアップミーティングや朝のミーティング等で情報を共有し、知識を増やしていった。

また、介護支援専門員連絡会主催の外部の研修にも参加する等、自ら、スキルアップの向上を図る職員もみられた。

平成 30 年度は介護保険制度の法改正もあり、居宅介護支援事業所として、新たに取り組まなくてはならないことなど、必要なことが出てきている。今後も、制度の理解を深めていき、職員 1 人 1 人の知識及びスキルアップの向上を図っていく必要がある。

- ・新品質マニュアルの運用

【目標】新品質マニュアルの理解と確実な運用

新品質マニュアルの運用、理解については、ISO 事務局の職員も在籍していた為、随時、確認しながら、周知出来、確実な運用が実施出来ている。

3. 自律型職員の育成

- ・課題を分析し、改善提案できる職員の育成

【目標】課題を分析し、改善提案できる職員の育成

業務において改善したほうがよいことについては、職員で話し合い、業務改善につなげることが出来、また、困ったケース等については、主任介護支援専門員を中心に対応策を助言することが出来た。

平成 30 年度は 4 人体制になることから、各職員の仕事量の負担が増えていく。

それぞれの役割、担当を振り分け、職員の仕事量の負担をフォローしあいながら、秩序を守って、適切な業務運営が行えるようにしていく必要がある。

事業所名	定員	2017年度お客様延べ人数													
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ケアプランセンター 日翔会	介護	前年	153	153	148	150	158	164	170	172	295	292	290	180	2,325
		目標	3	111	112	113	114	115	116	117	116	115	114	115	1,261
	予防・総合	本年	121	122	123	123	125	118	121	120	113	109	106	107	1,408
		目標	60	60	60	60	61	62	63	63	63	62	62	62	738
	計	本年	58	59	58	46	60	62	63	66	65	63	67	66	733
		目標	171	171	172	173	175	177	179	180	179	177	176	177	2,107
		本年	179	181	181	169	185	180	184	186	178	172	173	2,141	

事業所名	定員	2017年度お客様延べ人数													
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ゆうゆう倶楽部	件数	前年	84	84	81	75	87	82	83	99	103	75	89	91	1,033
		目標	80	90	90	80	90	80	90	90	80	80	80	90	1,020
		本年	83	92	99	77	88	78	76	77	65	53	63	52	903

3. デイサービス かじか荘

1. 事業推進

- ・人材確保

目標：働きやすい職場作りと職員確保

・ミーティングでの意見交換を行いながら、年 2 回の面談や、体調の悪い時の声かけなどを行いながら職員の働きやすい職場作りを目指したが厨房にて調理師 1 名、管理栄養士 1 名の退職があった。

・知人や以前勤めていた職員に声かけを行い、介護職 2 名のパート職員の入職、常勤 1 名の入職につなげられた。職業安定所を通じて 2 名の調理職員の入職があった。

- ・有休取得も誕生日休暇や年 5 回以上の有給休暇が 3 名取得することが出来た。

- ・職員親睦会も年 3 回行うことが出来た。

- ・予実管理及び新規利用者の確保

目標：新規利用者、月 1 名以上の確保

- ・目標件数は事業所会議にてスタッフ全員で把握し、月2回の行事に集客できるよう担当者を中心に声かけを行った。25名参加の日も8回あり、24名の日も多くなった。職員の声かけの意識もできるようになった。
- ・日野病院居宅とケアプランセンターからの体験利用の声かけや空き情報からの急な相談に答えることにより新規利用者は年間30名あり月平均2.5名で新規利用者確保することが出来た。
- ・夏時間（4月～10月・3月）に7～9時間、冬時間（11月から2月）に5～7時間を行い、夏時間に売り上げを伸ばし。冬場もお客様のインフルエンザや、雪の為のお休みも少なく抑えることができ予算を達成することができた。

2. サービスの質の向上

- ・こやまケア推進

目標：お客様満足度の向上を目指す。

- ・お客様の希望企画は年2回「ミニ盆栽作り」「凧作りの先生」を行い、楽しんでいただけた。

- ・保育所・コーラスグループ・兄弟様の演芸・踊りのグループなどの外部ボランティアの受け入れを行い、喜んでいただくことが出来た。

- ・お客様アンケート（年1回）・嗜好調査（年2回）行う事としていたが、嗜好調査は管理栄養士退職により1回しか出来なかった。

1回の嗜好調査により、お客様の希望の料理を聞きメニューとして反映することが出来た。お客様アンケートの改善してほしい所では、連絡ノートの記載ミスなどありとの声には、複数の職員が確認するなどの体制を作るようにした。

- ・機能訓練指導員よりリハビリ要素のある体操を学び全職員が実施できるようになり、毎日続けて行えた。地域ケア会議で習ったいきいき百歳体操を毎週火曜日に行い、下肢筋力を鍛えておられるお客様に喜んでもらっている。

- ・新品質マニュアルの運用

目標：新品質マニュアルに沿い運用をおこなっていく。

- ・内部監査員の新品質マニュアルの勉強会の後説明をおこない周知した。間違えることなく帳票の使用をおこなったり、見直しにより改訂したりすることが出来た。

3. 自立型職員の育成

- ・課題を分析し、改善提案できる職員の育成

目標：意見を提案し発信、実行できる。

- ・内部研修では介護福祉士や看護師が講師となり年5回勉強会をおこなうことができた。

- ・事業所会議や夕のミーティング時に課題分析をし、お客様への声のかけ方、電話のかけ方、答え方、苦情があったときの対応、アクシデントのシェル分析、移動、移乗の仕方など皆で考えることができた。

事業所名	定員	2017年度お客様延べ人数													合計
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
DSかじか荘	介護	前年	554	482	512	509	536	506	459	452	488	391	368	448	5,705
		目標	441	496	498	503	519	514	508	508	492	443	393	470	5,785
		本年	436	500	477	489	496	500	496	475	459	468	452	491	5,739
予防・総合事業	件数	前年	29	40	43	44	44	43	37	45	58	53	53	54	543
		目標	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	660
		本年	40	49	43	39	37	39	40	46	46	46	52	57	534
介護・予防・総合事業計	登録	前年	5	5	6	6	6	7	8	8	10	11	11	10	93
		目標	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
		本年	8	8	8	8	7	9	9	8	8	9	11	12	105
介護・予防・総合事業計	月～金 25 土 15	前年	583	522	555	553	580	549	496	497	546	444	421	502	6,248
		目標	496	551	553	558	574	569	563	563	547	498	448	525	6,445
		本年	476	549	520	523	533	539	536	521	505	514	504	548	6,268
	定員	575	635	610	600	635	570	610	610	600	560	560	500	7,065	

4. グループホーム にいざと さくらの丘

1. 事業推進

- 人材確保

- ・面接については、勤務の調整が出来ず実施月には出来ない事もあったが、年4回の面接は

実施出来、職員からの思いを聞く事が出来た。

- ・9月には、第2回目となるさくらの丘祭りを開催した。昨年以上に地域、ボランティア

の方に協力を頂けた。演目では、牛の碁盤乗りを披露し来場者に大変喜ばれた。

- また、地区納涼祭を始め地域行事には職員が率先して参加することが出来た。
- ・年1回のストレスチェックを実施し、結果をもとに職員との面談をした。
- ・年間行事の半数は、メディア・地元誌の取材があった。その一方で、ケーブルテレビ

の

カラオケ大会に出場しさくらの丘のアピールが出来た。

○予実管理及び新規利用者の確保

- ・2名の入院があったが、早期に体調不良に気付く事が出来た。しかし、1名の方が皮膚疾患により長期入院となった。主治医との連携が難しく見極めが遅くなってしまった。
- ・入居申し込者の意向確認は、月初めに行う事が出来た。
- ・神郷ケア会議に参加したケアマネから情報を受け待機者獲得につなげる事が出来た。

2. サービスの質の向上

○こやまケア推進

- ・施設間評価では、高い評価を得たが、外出企画ではお客様の希望内容を入れておいた方が良いのではとのアドバイスを頂いた。次年度は、希望内容を取り入れた企画を立て実施する。
- ・お客様アンケートでは、回収率 89%で前年度を上回った。
温かい雰囲気、予定変更にも臨機応変に対処してくださる等の意見があった。指摘の意見はなく次年度に向け継続していく。
- ・お客様に合ったカルチャーの提供が出来た。個々の作品や、合同作品も完成することが出来た。文化展に作品の展示をし来場者、家族様に観覧していただけた。
- ・年2回の家族会を予定していたが、1回のみの実施となった。
家族様との日程調整が上手くいかなかったことと遠方の家族様の参加が難しかった事が要因と考える。
次年度は、帰省時に合わせるなどの検討をしていく必要がある。
- ・地域行事、公民館行事、学校行事等積極的に参加が出来た。小学校運動会、料理教室には、お客様との参加が出来た。

○新品質マニュアルの運用

- ・事業所内部監査は、実施出来た。その他でも毎月改善事項を挙げ取り組んでいる。
- ・GH 委員会で検討した結果を周知し運用が出来ている。

3. 自立型職員の育成

○課題を分析し、改善提案できる職員の育成

- ・議題の提示については、当初前日あるいは当日になっていた。
徐々に浸透し1週間前には提示できるようになった。
- ・事業所内での研修では、資格取得者を中心に毎月1回勉強会の開催が出来た。
資料作成が事前に出来た事により勉強会に意見を持って臨めた。
- ・岡山県社会福祉協議会、FAX等の外部研修情報を閲覧できるようにしたが、参加が無かった。
- ・テキスト、過去問を使用し介護福祉士が中心となり勉強会を実施した。
結果1名の合格者あり。
介護支援専門員の資格取得では、1名の合格があった

事業所名	定員	2017年度お客様延べ人数													
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
GHさくら	9	前年	268	279	270	279	279	270	277	270	279	279	252	280	3,282
		目標	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3,285
		本年	270	279	270	279	279	270	275	270	279	279	252	279	3,281
		(入院)	0	0	13	0	0	12	3	0	0	0	0	0	28

5. 小規模多機能ホーム にいざとさくらの丘

1. 事業推進

○人材確保

- ・年4回の面接は実施出来たが、予定していた月に出来ず翌月になる月があった。
(6月、12月)勤務表に事前に組み込み次年度は実施していく。
- ・9月に開催したさくら Fes 2017 では、前年度より2割増の来場者があった。
地域ボランティア、婦人会、若連の方の協力があり盛大に開催出来た。
演目で注目を集めた「牛の碁盤乗り」では、牛の迫力に驚かれ大歓声が上がった。

地域行事では、納涼祭を始め職員が率先して参加する事が出来た。

- ・年1回のストレスチェックを実施し、結果をもとに職員との面談をした。
- ・年間行事の半数は、メディア・地元誌の取材があった。その一方で、ケーブルテレビのカラオケ大会に出場しさくらの丘のアピールが出来た。

○予実管理及び新規利用者の確保

- ・4月～6月（食材費）最初の取り組みとして季節に応じて冷凍菓物と生の菓物に変更した。前年度5月単価318円、今年度5月単価176円に下がった。担当者が、単価の確認をしながら発注出来た事が要因と考えられる。前年度6月単価371円、今年度6月単価317円に下がった。調味料の見直し、小袋で購入していたが大袋に変更しGHと分ける事で単価が安くなったと考えられる。結果では、目標にしていた300円に下げる事が出来なかった。
- ・7月～9月（光熱費）ダイヤモンド管理を行い3ヶ月実施した。エアコンの管理、温度調節等を行ったが9月のみ前年度6.924kWhから6.730kWhの削減が出来た。
- ・10月～12月（光熱費）引き続きダイヤモンド管理を行ったが削減が出来なかった。
- ・1月～3月（消耗品）1月9,000円のプラス、2月32,000円マイナスとなった。以前は、単品での購入をしていたがGHとまとめて購入したことにより安価になった。

○新規利用者の確保

- ・毎月の月間表を作成し面接時、申し込み時に活用が出来た。利用日の調整がスムーズに行えた。
- ・神郷ケア会議に参加することにより情報交換、空き情報の提示を行い新規利用者の登録が出来た。

2. サービスの質の向上

○こやまケア推進

- ・施設間評価では、環境面の指摘があり掃除箇所に取り入れ継続出来ている。
- ・お客様アンケートでは、前年度78%今年度83%と回収率が5%上がった。グラフを比較すると「よく出来ている」の項目が増えた。事業所へ企画や面会等で足を運んで下さった事で、項目に答えやすかったと感じた。
- ・家族親睦会の実施は出来たが、計画した月に実施が出来なかった。1回目は、6名の参加があった。日頃の悩みや、今後の相談等が出来た。2回目は、積雪の時期であった為参加者がおらず中止となった。
- ・年間計画を立て家族様の参加を呼びかけた。家族の参加はあったが、遠方の為参加が難しいとの理由が多く参加率が低かった。
- ・地域行事、公民館行事、学校行事等積極的に参加が出来た。小学校運動会、料理教室には、お客様との参加が出来た。

○新品質マニュアルの運用

- ・事業所内部監査は、実施出来た。その他でも毎月改善事項を挙げ取り組んでいる。
- ・小規模委員会で検討した結果を周知し運用が出来ている。

3. 自立型職員の育成

○課題を分析し、改善できる職員の育成

- ・課題の提示については、当初前日あるいは当日になっていた。徐々に浸透し1週間前には提示できるようになった。
- ・事業所内での研修では、資格取得を中心に毎月1回勉強会の開催が出来た。資料作成が事前に出来た事により勉強会に意見を持って臨めた。
- ・岡山県社会福祉協議会、FAX等の外部研修情報を閲覧できるようにしたが、参加が無かった。
- ・介護支援専門員の資格取得では、1名の合格があった。

事業所名	定員	2017年度お客様延べ人数														
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
小規模さくら	登録 定員 29	前年	25	24	26	24	25	25	24	24	25	24	25	24	24	295
		目標	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276
		本年	24	27	25	23	23	25	25	25	24	25	24	25	25	295
	件数	前年	697	748	738	744	744	712	744	693	735	744	678	737	8,714	
		目標	705	728	705	728	728	705	728	705	728	728	658	728	8,574	
		本年	720	749	706	713	713	741	735	683	700	758	660	740	8,618	
	定員	750	775	750	775	775	750	775	750	775	775	812	899	9,361		

6. 小規模多機能ホーム菜の花

1. 事業推進

○人材確保

- ・人材確保については、職員間で知人や地域の方へ声かけ合い1名の入職がありました。次年度も離職者をなくし職員の定着に力を入れていきます。(退職1名、入職1名)
- ・毎日のミーティングではお客様の状態や当日のスケジュール、報告事項など情報共有することで業務の流れをスムーズにし、仕事がしやすい環境を作ることが出来ました。また計画通り年3回の親睦会の実施、日翔会バレーボール大会へ(3名)参加しています。職員全員が楽しめる場も設け親睦を図ることが出来ました。

○予実管理及び新規利用者の確保

- ・目標件数(H29年4月～H30年3月末)
売上目標: 69,845千円 → 売上実績 78,889千円 (112.9%)
件数目標: 8,760件 → 件数実績 9,588件 (109.4%)
- ・今年度大きく売上げが伸びた要因は、5月から利用定員を25名から29名に増やし登録者数27名の維持が継続的に行ったことにあります。また、お客様の入院をなくし入院から登録解除へ繋げないように体調管理を行い異常があれば早期に受診を行ってきました。入院からの登録解除は2名でした。感染症の発生はありませんでした。登録解除→7名(2名→入院から解除、2名→他事業所入所、3名→自宅にて他界)
- ・毎月のケア会議で居宅、蒜山地域包括、真庭市包括、社協居宅と情報共有を行う中で空き情報等も伝え紹介をお願いしてきました。紹介先として蒜山居宅1名、包括3名、社協居宅1名がありました。2名の待機者確保は難しい状況でありましたがその都度紹介を頂くことはできています。

2. サービスの質の向上

- ・お客様の満足度の向上では、施設間評価、お客様アンケートを実施しています。アンケートは回収率がH28年度71%→H29年度83%と上がり、多くの方から沢山の褒め言葉を頂きました。質問事項15項目中8項目に「解らない」と回答があり、職員間で話し合いサービスの質の向上に繋げる事ができました。
- ・年間行事、月間活動は計画は予定通り実施できサービスの向上へつながっています。
- ・地域との交流は真庭市蒜山地域福祉運動会、川上こども園との交流、蒜山文化祭へ作品の出展、秋祭りなど、お客様と一緒に地域へ出かけ沢山の方々と交流を図ることが出来ています。また高校生1名、中学生4名と職場体験の受け入れも行いました。
- ・嗜好調査年3回、家族会年2回、運営推進会議年6回開催しています。嗜好調査で得た意見はお客様と一緒におやつ作りを行い楽しみな活動となっています。

また家族会では意見交換会を設けたことで家族様の抱えている不安や悩みを傾聴、相談の場になり家族様に安心と心のゆとりを持って頂くことが出来ました。

(1回目→5家族、2回目→8家族の参加。次年度は休日に実施し沢山の家族に来て頂く)

- ・防災訓練は6月と11月に実施できております。6月の訓練は家族様も参加して頂き実際の訓練の場を見て頂くことが出来ました。災害訓練は、11月に実施し備蓄の確認とお客様全員が避難できる時間を図り災害時に備えることが出来ました。
- ・ISO内部監査を9月と3月の年2回受けております。職員会議で改善策を検討し全職員へ周知を図り確実に運用が出来ています。また小規模委員会を通じて帳票類の確認や検討を行い水平展開が出来ています。

3. 自立型職員の育成

- ・資格取得では実務者研修2名受講、介護福祉士2名受験し1名の合格。介護支援専門員2名受験し合格者なし。

- ・事業所内の勉強会（研修）では介護福祉士中心に全職員が勉強会の講師となり開催することができスキルアップへとつなげることが出来ました。
- ・気づきを多く持ち重大事故へ繋げない取り組みでは、インシデント月間を設け意識付けを行いました。4月～3月末でインシデント121件、アクシデント2レベル9件でした。インシデント発生日または翌日にはミーティングで一時対策を検討し職員間で周知し実践したことで入院となる大きな事故の発生はありませんでした。次年度も重大事故に繋げないようインシデント月間等実施しながら事故発生防止に努めていきたいと考えます。

事業所名	定員	2017年度お客様延べ人数														合計			
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
小規模菜の花	登録 定員 29	前年	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
		目標	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
		本年	25	27	27	27	27	26	26	27	27	27	27	27	27	27	27	27	320
	件数	前年	750	775	750	775	775	750	748	733	775	775	678	775	678	775	775	775	9,059
		目標	720	744	720	744	744	720	744	720	744	744	672	744	744	744	744	744	8,760
		本年	700	792	810	829	837	754	795	810	837	821	756	837	837	837	837	837	9,578
		定員	750	899	870	899	899	870	899	870	899	899	812	899	812	899	899	899	10,465

7. 特別養護老人ホーム ゆずり葉

1. 事業推進

・人材確保

平成29年度も人材不足が大きな課題となった。新たに「お友達紹介キャンペーン」を企画し、現在働いている人にお願ひし紹介してもらえるように活動を行った。6月から行い、1名の紹介があり、その後入職に繋がっている。しかし、その後も続けて声かけを行ってもらうが、見学や面接まで至ることはなかった。

入職者数20名、退職者数11名だった。

また、介護職員の負担軽減と生産性の向上の為、介護アシスタントの募集を行い、シート交換専属で3名の入職があった。

その他の活動として、教育施設のインターンシップ、介護実習など積極的な受け入れを行うことができた。また、「夏ボランティア」の受け入れを行い中学生4名の就業体験を行うことが出来た。インターンシップでは職員の雰囲気など、良い印象を持ってもらえてはいるものの、今期は新見公立短期大学からの応募はなかった。

今後もインターンシップを継続することで、指導する職員の力量アップを図ると共にさらに内容も充実させ、「ゆずり葉」を選んでもらえるような魅力づくりをしていきたいと考える。

・予実管理及び新規利用者の確保

売り上げについては、9月から入院者が増え、4ヶ月間程度の目標未達が続いてしまった。要因としては、アクシデントによる骨折の為の入院もあったが、持病の増悪による入院者が多くみられ、最大で月に14名の入院があった。初期段階で早期の受診を行っていたが、すぐに入院できず、何度か受診してから入院になることが多かった。相談員が1～2週間ごとに状況の確認は行っていたが、再度の入院になるなど改善ができていない。

今後は日々の体調管理の中で、より細かな対応ができるよう疾患別に理解を深めていくことが必要だと考える。

短期入所に関しては、目標として毎月稼働率90%以上を目標に取り組みを行った。年間平均で稼働率は90%以上維持できた。新規利用者は平均して3.9名新規利用が確保できた。

2. サービスの質の向上

・こやまケア推進

レクリエーション、機能訓練、余暇活動の充実については、各ユニットで毎月の行事を企画し実施することが出来ている。以前より、少しずつではあるが体操やレクリエーション活動も行えているので、今後は各ユニットでアイデアを出しながら、工夫を続けていきたい。

委員会活動は各委員会で月別活動の計画を立て取り組みを行ったが、充実している委員会とそうでない委員会があり、目的の見直しを含めた運用の仕方の工夫が必要だと考える。また、委員会が中心に勉強会を企画するなどの計画をしていきたい。

職員のモチベーションの維持向上として、スタッフ間の挨拶もできない人もいるので、再度働く職場の仲間として挨拶はきちんとするように指導を行う。安全衛生による活動は健

康診断、ストレスチェックの実施を行った。

来年度については腰痛健診も入れて職員の健康管理を行い、働きやすい職場にしていく。

・新品質マニュアルの運用

新品質マニュアルについての勉強会の開催は出来なかったが、記録の簡素化を図る事など、帳票類の見直しや業務改善などは行えている。より現場からの声を吸い上げ、良いことは改善して継続的に進められるようにしていきます。

3. 自律型職員の育成

・課題を分析し、改善提案できる職員

外部研修への参加（ユニットリーダー研修2名、介護福祉士実習指導者講習1名、コーチング研修2名）などを通じて発言力を養っている。リーダー会議では、各リーダーが提案や検討事項を挙げてくれるようになってきているので来年度も継続していきたい。

事業所名	定員	2017年度お客様延べ人数													合計
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ゆずり葉入所	90	前年	2,577	2,622	2,613	2,677	2,685	2,619	2,680	2,556	2,617	2,649	2,437	2,692	31,424
		目標	2,686	2,776	2,686	2,776	2,776	2,686	2,776	2,686	2,776	2,776	2,506	2,776	32,682
		本年	2,672	2,735	2,695	2,786	2,781	2,689	2,777	2,687	2,758	2,771	2,463	2,766	32,580
		(入院)	78	62	69	150	169	125	198	287	221	264	194	98	1,915
ゆずり葉短期	10	前年	297	285	288	285	288	288	281	281	258	242	246	289	3,328
		目標	273	282	273	282	282	273	282	282	282	282	255	282	3,330
		本年	281	267	285	284	285	259	257	268	275	306	251	275	3,293
		前年	2,874	2,907	2,901	2,962	2,973	2,907	2,961	2,837	2,875	2,891	2,683	2,981	34,752
ゆずり葉	100	目標	2,959	3,058	2,959	3,058	3,058	2,959	3,058	2,968	3,058	3,058	2,761	3,058	36,012
		本年	2,875	2,940	2,911	2,920	2,897	2,823	2,836	2,668	2,812	2,813	2,520	2,943	33,958

8. デイサービス アルクゆずり葉

1. 事業推進

・人材確保

平成 29 年度も人材不足が大きな課題となっている。新たな人材確保の取り組みとして、「お友達紹介キャンペーン」を企画し、職員に求職者を紹介してもらえるように活動を行った。

6 月から行い、アルクに介護職の紹介があり 7 月に 1 名入職に繋がった。しかし、その後も声かけを続けていたが、見学や面接に繋げることはできなかった。

その他の活動としては、介護実習、就業体験など積極的な受け入れを行うことができていた。インターンシップについても新見公立短大地域福祉学科の生徒さんの介護福祉士実習を 6 月、9 月に 3 名ずつ行った。また、新見社会福祉協議会の依頼で、「夏ボランティア」の受け入れを行い中学生 4 名の就業体験を行うことができた。

このような取り組みを続け、介護の仕事ややりがいを伝えることで、介護を目指す人材を増やしていきたいと思う。また、指導する側の職員の力量アップ、自信にも繋がったと感じた。来年度も色々なアイデアを出しながら、人材の確保は行っていきたい。

平成 29 年度入職者数 2 名、退職者数 0 名

・予実管理及び新規利用者の確保

売上予算達成については達成出来た。主な達成要因として、サービス提供体制強化加算 I の算定が通年を通してできたことが挙げられる。他、毎月行事を平均して 2 回は開催することができ、企画による増員も行うことが出来た。長期利用のない方について、様子などの把握は行えたが、今後の利用についての相談などができていなかった。次年度は、長期利用のない方に関しては、連絡を待つだけではなく担当のケアマネジャーと相談して早期に決めていく。

新規利用者確保については毎月達成できている。新規利用者年間 22 名、月平均 1.8 名だった。毎月居宅周りを行い、チラシなど持ちアピールを行い、毎月コンスタントに問い合わせを頂いた。

2. サービスの質の向上

・こやまケア推進

委員会活動は各委員会で月別活動の計画を立て取り組んでもらい、計画通りの実施ができている。今後は委員会開催の仕方など、運用の仕方の工夫や委員会が中心となった勉強会を行っていきたい。

委員会の開催日や委員会が中心に勉強会などを実施して行きます。

職員のモチベーションの維持向上として、スタッフ間の挨拶もできない人もいるので、再度働く職場の仲間として挨拶はきちんとするように指導を行う。

安全衛生による活動は健康診断、ストレスチェックの実施を行った。

安全衛生委員会を通じての取り組みは行えた。来年度は腰痛健診も入れて職員の健康管理を行い、働きやすい職場にしていく。

・新品質マニュアルの運用

新品質マニュアルについての勉強会の開催は出来なかったが、記録の簡素化を図る事など、帳票類の見直しや業務改善などは行えている。より現場からの声を吸い上げ、良いことは改善して継続的に進めるようにしていきます。

3. 自律型職員の育成

・課題を分析し、改善提案できる職員

外部研修への参加（コーチング研修 1名）次年度も、外部研修等に積極的に参加して行くようにする。毎月のアルク会議にて、必ず職員全員が発言をしている。改善等を考え、行動出来るようになってきている。

事業所名	定員	2017年度お客様延べ人数													
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
アルクゆずり葉	介護	前年	263	266	302	284	302	301	275	260	283	258	267	312	3,373
		目標	278	322	308	294	299	273	286	264	240	240	286		3,354
		本年	281	352	313	293	300	298	320	299	295	257	260	301	3,569
予防・総合事業	件数	前年	141	125	120	107	106	93	100	107	127	124	113	149	1,412
		目標	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	1,380
		本年	129	146	141	293	128	128	147	145	122	136	138	144	1,797
	登録	前年	28	25	23	23	23	21	22	28	28	29	27	31	308
		目標	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
		本年	31	30	29	29	28	29	31	31	28	31	30	31	358
介護・予防・総合事業計	月～金 25	前年	404	391	422	391	408	394	375	367	410	382	380	461	4,785
		目標	393	437	423	409	414	388	401	379	379	355	355	401	4,734
		本年	410	498	454	412	433	426	467	444	417	393	398	445	5,197
	定員	500	575	550	525	575	525	550	550	525	500	500	550	6,425	

9. 福祉用具貸与販売事業所あいご

1. 事業推進

・人材確保

目標：介護ロボット等を導入し、職場の魅力を向上させる

介護職員の負担軽減の観点から、介護現場においてロボットの活用が期待されている中、現在、日翔会は9事業所へ介護ロボットを使用している。導入する事により、業務の効率化や職員の心身・身体的負担の軽減が図れている。しかし、介護ロボットのデメリットとも言える、複雑な操作方法や使い勝手の問題が残り、夜間等の一定場面のみでの使用が多い事が

現状にある為に、今後の課題として具体的かつ明確な提案・助言がおこえる様に職員の知識向上を図り、介護ロボット導入をこれからも進めていく。

・予実管理及び新規利用者の確保

目標：消耗品の発注を福祉用具あいごにて一括で管理をおこなう。

サラヤの受発注を福祉用具あいごにて管理し、WEBでの発注方法を取り入れている。

WEBにて発注する事により、業務の円滑化が図れると共に、出荷数の多い商品を明確に確認できる為、メーカーと価格交渉をおこない、利幅を増やすことや、安価な商品を事業所へ提案する事によりコスト削減に向け取り組む事が出来た。しかし、PR不足もあり、日翔会全体への提案が出来ていない事が課題となる為に今後は営業活動に焦点を合わせ取り組みをおこなっていく。又、サラヤ以外の業者に関しても福祉用具あいごにて管理していくように進めていく。

2. サービスの質の向上

・こやまケア推進

目標：モニタリング・ケアプラン点検

計画的に作成時間を設け漏れ・遅れのないよう作成をおこない、自主点検を年に4回取り入れ作成状況を把握している。課題としてアセスメント内容・記録内容に不十分な点がある為に今後は制度をあげ取り組みをおこなっていく。又、2018年4月からは【基本情報】【選定提案】【利用計画】の作成が義務づけられている為に確実に作成をしていく。

3. 自律型職員の育成

・課題を分析し、改善提案できる職員の育成

目標：アセスメント・モニタリングにて心身状況に合わせた解決すべき課題を明確化する技量を身に付ける。お客様のニーズを拾い上げ、改善提案を自らがおこなえる提案力を身につける。

レンタル商品の提案につながる、福祉用具の研修や、販売提案につながる排泄用品の研修

や説明会に参加することにより、個々のスキルアップとなり、提案力を身につける事が出来ている。しかし、提案した後に製品の導入に至らなかったケースも多くある為に、課題として提案方法の見直しや課題の分析力を向上させる必要性がある。今後も介護ロボットを始めとする様々な分野が新たに構築される為に、随時、スキルアップを目指す必要性がある。

事業所名	定員	2017年度お客様延べ人数													
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
福祉用具あいご	前年		139	134	141	146	152	150	158	152	146	142	143	143	1,746
	介護	本年	113	103	96	93	96	90	89	86	83	78	78	82	1,087
	予防	本年	29	28	29	29	30	29	31	30	31	30	27	27	350
	計	目標	135	136	136	137	138	139	141	140	139	138	138	137	1,654
	本年	142	131	125	122	126	119	120	116	114	108	105	109	1,437	